

● 先行イベント ● 場所 エントランスホール

3月7日(土)

■ 中江有里(俳優・作家)講演&トークセッション

① 講演

『わたしと福島と未来』

13:00~13:45

浪江町と東京都に拠点を構え、様々な活動を行う中江氏が福島の自然・文化の良さや復興の歩みについて語ります。



中江 有里氏

登壇者(トークセッション)



写真家  
初沢 亜利氏



東大大学院准教授  
開沼 博氏

② トークセッション

『記憶から未来へー福島歩みとこれから』14:00~14:45

地元住民を招いたトークセッションにて、今の福島の日常について発信します。

3月8日(日)

[主催] 東日本大震災・原子力災害伝承館

① 震災15年ミニコンサート

11:00~12:00

双葉町出身で県外に避難している歌手がふるさとを想って歌います。

[主催] NPO法人富岡町3・11を語る会

② 手話で語る「ふくしま」

~手話による

語り人(ベ)育成講座発表会~

14:00~15:30

手話通訳付きの語り人(ベ)口演や聴覚障がい者による手話語りを行います。

【展示】

1月18日(日)~2月28日(土)

※一部展示は3月末まで

■ 竜田一人作

『いちえふ 福島第一原子力発電所労働記』マンガ原画展

東日本大震災後の福島第一原子力発電所作業員の過酷な日常等を描き、イギリス・ロンドンの大英博物館収蔵作品にもなったマンガ『いちえふ』の著者、竜田一人氏のオリジナル原画展です。



2月18日(水)~2月28日(土)

■ 未来への手紙パネル展

震災と原発事故について学んだ県内の中学生の素直な想いを募集し、集まった1,475通の作品の中から3作品を展示します。

3月1日(日)~3月30日(月)

■ 『風と書の対話記』

中江有里氏が福島への想いを対談している様子をモニターに投影し展示します。

■ 初沢亜利 写真展『FUKUSHIMA序章』  
—原発20km圏内の営み—

初沢亜利氏が福島12市町村の住民と深く対話・交流した50日を記録した写真等を展示します。

■ 開沼博「地域の復興の音の記録」  
サウンドスケープを展示

- サウンドスケープ(音の風景)を展示します。
- 福島第一原子力発電所の中の音や復興作業の音などを聞くことができます。

● 関連イベント ●

開催中~3月30日(月)

[主催] 大熊未来塾、おおくまふるさと塾、福島大学地域未来デザインセンター

[共催] 大熊町、大熊町教育委員会

■ 熊町小パネル展

熊小がある。これまで、これからも。  
~未来にのこしたい わたしたちの学び舎~

1月31日(土)~2月8日(日)

[共催] 株式会社Wasshoi Lab、経済産業省、東日本大震災・原子力災害伝承館

ハマカル アート ウィーク  
HAMACUL ART WEEK

県内12市町村で活動する事業者や芸術家の事業紹介や作品展示、ワークショップを実施します。詳細はこちらから

<https://hamacul-project.com/>



【お問合せ】

福島県企画調整部文化スポーツ局生涯学習課

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号 ☎024-521-7784

※花火・キャンドルナイトは天候により中止する場合があります。  
※写真は全てイメージです。

イベントは予告なく内容・時間が変更になる場合があります。最新の情報はHPをご確認ください。▶▶▶



3.11 伝承ふくしま



3.11 伝承  
ふくしま